



2014年国民平和行進ニュース

2014年国民平和行進兵庫県実行委員会
7月10日
No. 4
神戸市中央区元町通6-7-6
TEL 078-341-2818・FAX 371-2427

尼崎市 市長の激励、子どもたちの声援に応じて

☆尼崎市役所・橘公園の出発集会は170人が参加。稲村和美市長が参加し、「残念ながら集団的自衛権の閣議決定がされた。このままなし崩しにしてはならない。被爆者が高齢化しており被爆体験をDVD化する事業を今年開始する」と力強い激励のあいさつ。尼崎原水協代表なども次々と、「核兵器と原発の危険を乗り越える世論の拡大が重要」「安倍内閣の暴走許すな」と強調。平和行進と原水爆禁止世界大会の成功を訴えました。行進団は炎天下を元気に行進開始しました。途中で、立花ひよこ、ひまわり、杉の子、太陽の子（ひかりのこ）、食満（けま）太陽の子の各保育園の園児が、途中からゆりかご保育園13人が激励にかけつけ武庫川橋まで一緒に行進しました。汗いっぱい元気に行進に行進参加者一同負けずに元気よく行進をつづけました。



☆武庫川橋で西宮市と引継ぎ。「西宮の会」の風呂本武敏代表理事（元神戸大学教授）が、西宮市での原水協の活動、非核の政府を求める運動などを紹介して、平和行進の決意を語りました。



西宮市・芦屋市 被爆者の激励を受けて

☆西宮市役所前では、副市長（市長代理）、市議会議長、西宮市被爆者の会水野会長（左写真）などが出迎え、激励と連帯のあいさつ。西宮市が、平和市長会議にも加盟し、原爆写真展、広島への「親子バスツアー」などの平和行政を熱心に行っていることなどが紹介されました。午後の出発集会では、西宮市職労代表が激励のあいさつ。

市職労からは恒例のオリジナルの「平和Tシャツ」が全国通し行進者に贈呈されました。

☆芦屋市では、副市長（市長代理）、市議会副議長が激励のあいさつ。芦屋市被爆者の会の千葉孝子会長が、被爆体験を語りながら「原発事故であらたなヒバクシャを生んでいることは許せない」と、核兵器も原発もゼロにする取り組みを訴えました。

☆元気に行進は神戸市に向かいました。神戸市東灘区に行進は進み、途中の東灘区役所では冷たいお茶、最終地点、御影公会堂では、民医労東神戸支部が、冷えたスイカを準備してくれました。



本日のコース=約25キロ 御影公会堂（9時発）—JR六甲道駅東—水道筋商店街—王子公園（10時頃／中央区と引継）—神戸市役所（11時30分頃着・12時30分発）—県庁前（13時20分）—兵庫区役所（14時20分）—長田区役所（15時15分）—神戸協同病院前—須磨区役所（16時45分）—須磨浦公園・みどりの塔（18時頃）

神戸医師協が平和行進歓迎と激励のタバ（世界大会の成功に向けて）

☆行進終了後、18時30分から、神戸協同病院南館で。参加希望の方は、行進団まで。

【昨日の沿道募金額は、明日のニュースでお知らせします】